

苗箱洗浄機

取扱説明書

SW-JH

も く じ

ご使用になる前に

- はじめに 1
- 安全のため必ずお守りください 2
- 各部の名称とはたらき 5
- 使用前の準備 6

ご使用にあたって

- 作業のしかた 7

知っておきたいこと

- 定期点検と調節 8
- 長期格納 8
- 不調の原因と処置 9

その他

- 仕様 9
- 消耗部品 9
- 安全確認一覧表 10

ご使用前に必ずお読みください
いつまでも大切に保管してください

はじめに

このたびは、本製品をお買上げいただきましてありがとうございます。

この取扱説明書には、本機の正しい安全な使いかた、保守点検などについて記載してあります。本機を安全に正しくお使いいただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みになって、本機の構造などをじゅうぶんご理解ください。

なお、仕様等の変更により、お求めいただいた製品と、本書の内容やイラストの一部が一致しない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

お読みになった後、必ず大切に保管し、わからないことがあったときは、いつでも取出してご利用できるようにしておいてください。

■ 危険防止

この取扱説明書では、必ず守っていただきたい重要な注意事項について、次のように表示しています。

⚠ 危険：注意事項を守らないと、死亡または重傷を負うことになるものを示します。

⚠ 警告：注意事項を守らないと、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。

⚠ 注意：注意事項を守らないと、ケガを負うおそれのあるものを示します。

重要：注意事項を守らないと、機械の損傷や故障のおそれのあるものを示します。

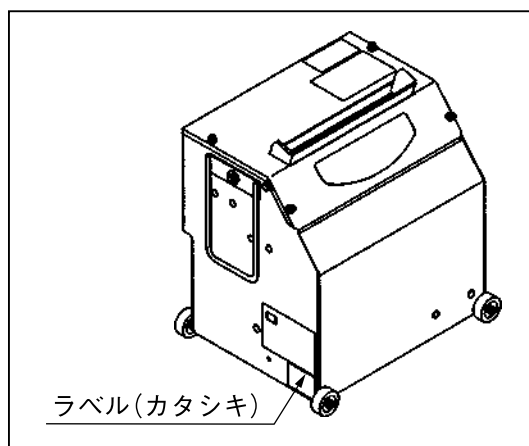
補足：その他、使用上役立つ補足説明を示します。

■ ご不明な点や不具合がありましたら

本書や本機についてご不明な点や、不具合がありましたら、無理に使用せず、ご購入店または弊社（本書のうら表紙に記載）までお問い合わせください。

軽い故障でも重大事故につながる場合がありますので、早期発見に心がけ、早めに整備してください。

故障や不具合が発生したときは、型式名と製造番号を必ずご連絡ください。



⚠ 警告

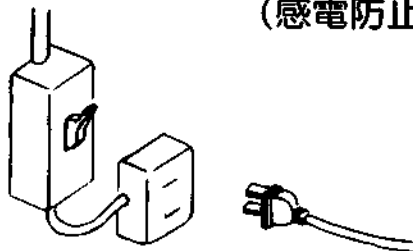
- 本機は水稲用苗箱の洗浄用として設計されています。この他の用途には使用できません。
- 改造して使用することは、しないでください。

⚠️ 注意 安全のため必ずお守りください

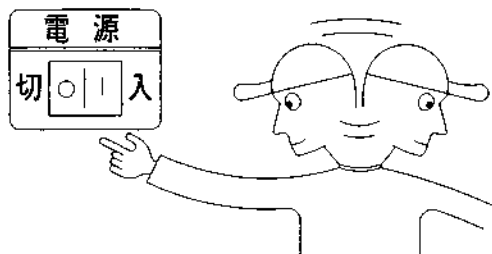
使用前にこの取扱説明書をよく読み、理解する

機械を他人に貸す場合は取扱い方法をよく説明し、あらかじめ取扱説明書をよく読ませる

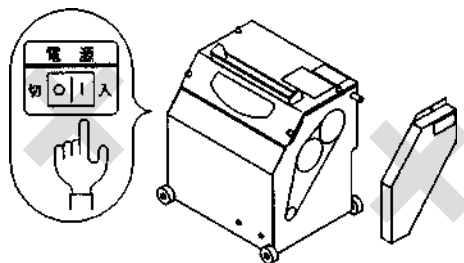
漏電ブレーカの設置されたコンセント使用
(感電防止)



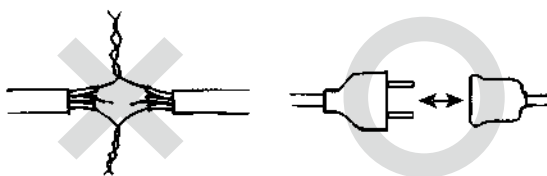
周囲の安全を確認してからスイッチ「入」



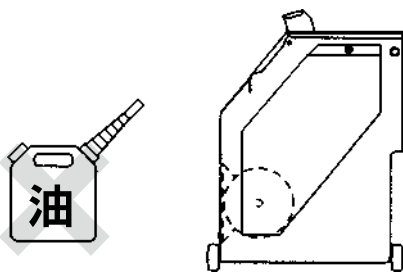
カバーを外したり開けたままでは絶対にスイッチを入れない



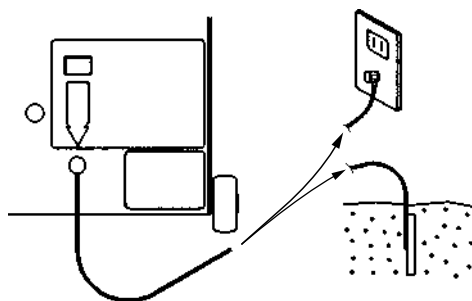
電源コードの延長はオス・メスの防水コネクタで接続
(感電・火災防止)



モータの近くには燃えやすいものを置かない
(火災防止)



アースコードは必ず接続する

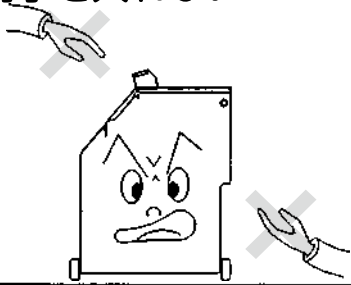


作業するときには手袋は着用しない
(巻込み防止)

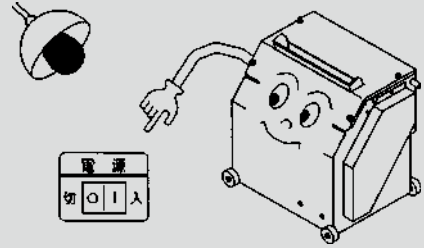


! **注意** 安全のため必ずお守りください

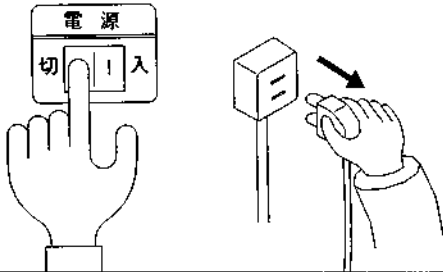
運転中は差込み口・排水口の中に絶対手を入れない



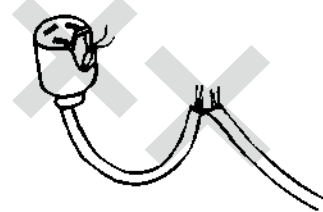
停電やブレーキ作動時はすぐにスイッチを切る



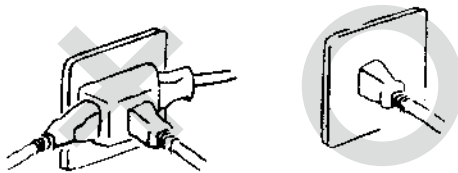
異常が発生した場合はすぐにスイッチを切りプラグを抜く



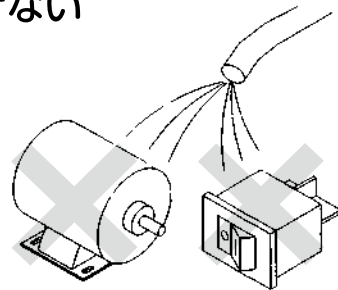
コードやプラグがいたんだらすぐに交換（感電・火災防止）



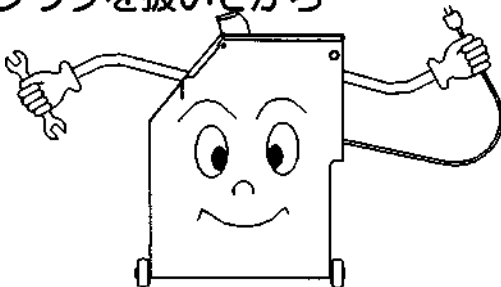
タコ足配線はしない



モーターやスイッチには水をかけない



点検・調整はスイッチを切り、プラグを抜いてから



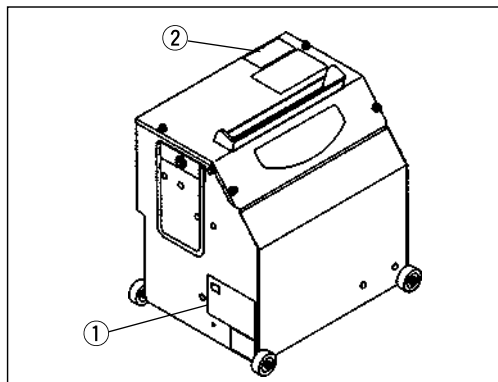
機械から離れるときは必ずスイッチを切る



⚠️ 注意 安全のため必ずお守りください

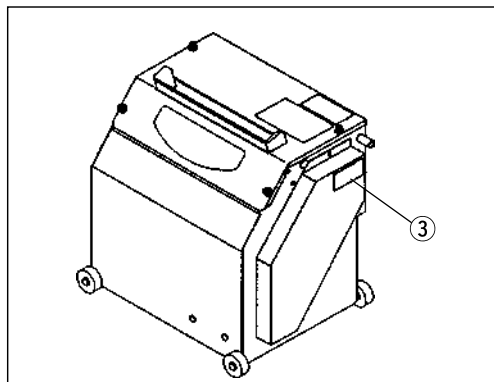
使用前に安全ラベルをよく読む

- 苗箱洗浄機には次の安全ラベルが貼ってあります。よくお読みになって、理解した上で作業してください。




① 14136-2165-1


電源	⚠️ 注意
切 <input type="checkbox"/> 入	<ol style="list-style-type: none"> 1. 安全に作業するために、必ず取扱説明書をよく読んで機械の使い方をよく覚えてから使用のこと。 2. 取扱説明書がない場合は購入店に連絡し、取寄せてください。 3. 機械から離れる時は、スイッチを切ること。 万一モータが過熱したり、周囲の人が手を触れると危険です。 4. 停電、ブレーカ作動時はスイッチを切ること。 電気が復帰した時、すぐに回りだし危険です。
アイス 取出口 ↓	



③ 57422-7119-1

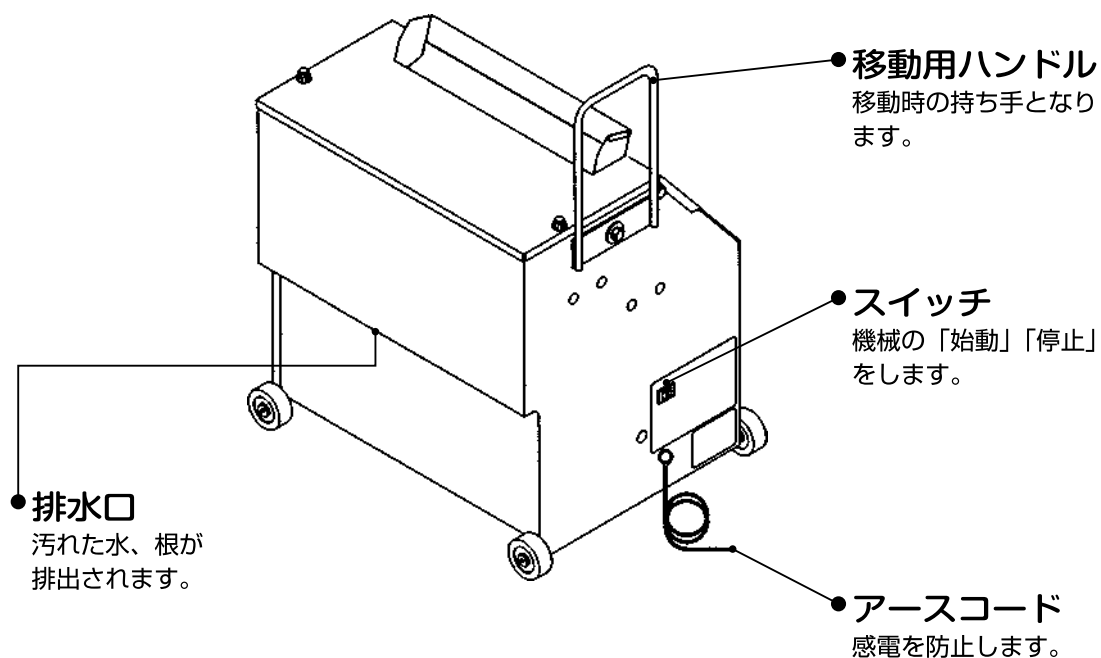
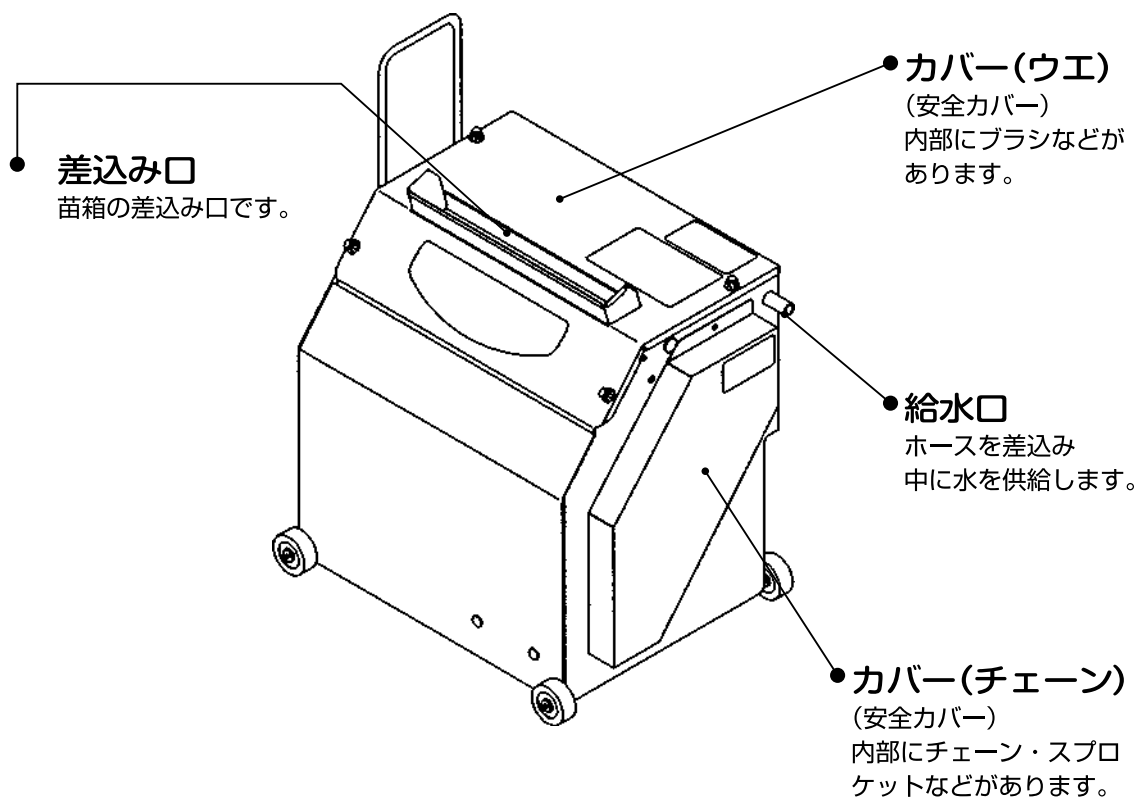
⚠️ 注意
 <p>このカバーを外したままで使用しないこと。 中の回転物に巻き込まれることがあります。</p>

② 14312-2194-1

⚠️ 注意
 <p>回転中、この中に手を入れないこと。 中の回転物に巻き込まれケガをすることがあります。</p>

- ラベルはいつもきれいにし、ハッキリと見えるようにしてください。
- シナーやアセトンなどの溶剤ではふかないでください。文字や絵が消えることがあります。
- ラベルが損傷・破損した場合は新しいラベルと交換してください。
- 安全ラベルを貼ってある部品を交換したときは、必ず新しい安全ラベルも取寄せ、取外した部品と同じ場所に貼ってください。

各部の名称とはたらき



使用前の準備

警告

- 準備作業は必ず電源コードの差込みプラグを抜いた状態で行なってください。

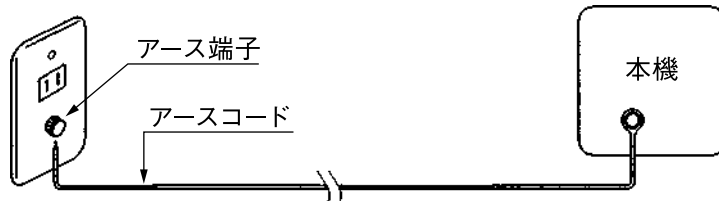
アースの接続

警告

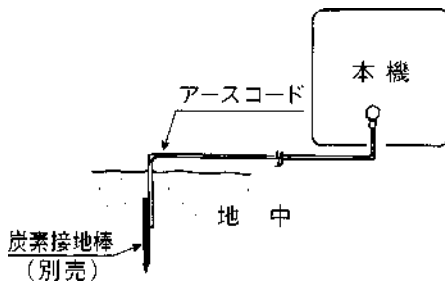
- アースコードは必ず接続してください。アースを接続しないと感電の危険があります。
- アースは、ガス管や水道管、電話や避雷針には絶対に接続しないでください。
- アースコードを延長して使用する場合は、必ず 1.25mm^2 以上のコードを使用してください。

アースコードの先端は、次のいずれかの方法で必ずアースしてください。

- コンセントにアース端子がついている場合はアース端子に接続してください。



- コンセントにアース端子がない場合は炭素接地棒を使用してください。



- 注) 1. 本機に炭素接地棒は含まれておりません。この場合アース工事は電気工事店に依頼してください。(電気工事士の有資格者が工事するよう法令で定められています。)
2. アース工事は有料です。
 3. 炭素接地棒は必ず地中に埋設してください。

電源盤コンセントの確認

警告

- 電源盤コンセントは漏電ブレーカ付のコンセントを使用してください。
- 電源は必ず交流100Vを使用し、直流100V（発電機など）での使用はしないでください。
- 電源コードを延長して使用する場合は、必ず 1.25mm^2 以上のコードを使用し、接続はオスメスプラグを使用してください。また、タコ足配線はしないでください。
- 電源やモータの周囲に燃えやすいものを置かないでください。
1.25 mm^2 未満のコードを使用したり、コード同士を直接よって接続しますと、コード及び接続部が過熱し、ショートや火災の危険があります。

重要

- 電源盤のブレーカ容量は10A以上必要です。
- 延長コード（コードリールなど）を使用したり、電源コードを延長して使用すると電圧が極端に低下し、モータが容量不足になることがあります。延長コードの使用や電源コードの延長は極力しないでください。

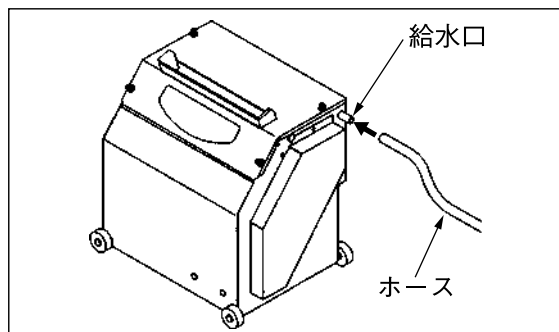
作業のしかた

⚠ 危険

- 運転中は差込み口や排水口に絶対に手を入れないでください。
- 運転中は周囲に人を近づけないでください。特にお子さんには注意してください。
- 運転中に異常が発生した場合はすぐにスイッチを切り、差込みプラグを抜いてから点検してください。
- 運転中に停電または電源ブレーカが作動した場合は、すぐにスイッチを切ってください。スイッチが入ったままで電気が復帰すると、突然機械が動きだし危険です。
- 機械から離れるときは必ずスイッチを切り、電源コードの差込みプラグを抜いてください。
- 作業中は手袋をしないでください。巻込まれ、ケガをすることがあります。
- 電源コードの差込みプラグを差込むときは、スイッチが「切」であることを確認してください。
- スwitchを入れるときは、補助者や周囲の人に合図をして、安全をじゅうぶん確認してください。
- カバーを外したままでは絶対にスイッチを入れないでください。回転体に巻込まれ、ケガをすることがあります。
- 暗いところでは作業しないでください。スイッチなどの位置がわからず危険です。
- 電源やモータの周囲に燃えやすいものを置かないでください。

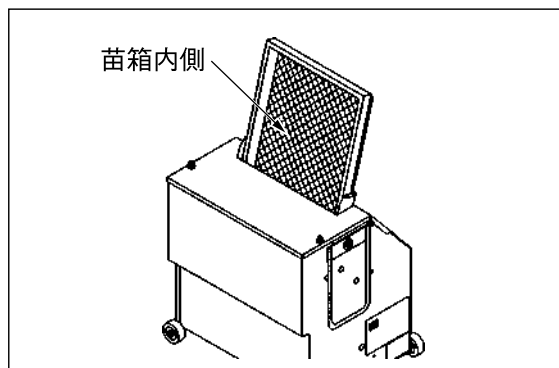
1. 洗浄作業

- ① 給水口にホースを差込んで水を供給します。
(作業中は常に水を供給し続けます。)



- ② 電源コードの差込みプラグを電源コンセントに差込み、スイッチを「入」にします。

- ③ 苗箱を、図のように差込み口から機械の底にあたるまでゆっくり押し込みます。



- ④ 苗箱をゆっくり取り出し、反対側半分も同じように洗浄します。

重要

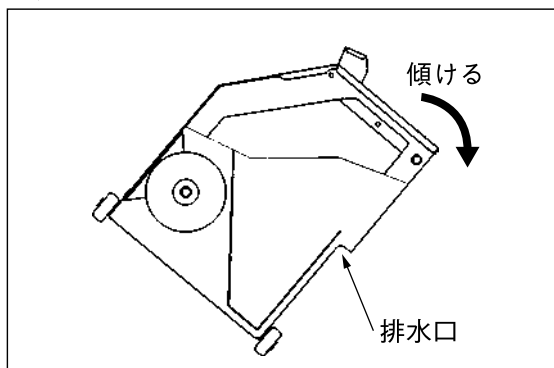
- 苗箱の差込み方向を間違えると、差込み口から水が飛散したり、洗浄が不十分になります。
- 洗浄作業はなるべく苗箱の土がかわく前に行なってください。土がかわいてしまった場合は、一度水にぬらした後に洗浄すると、一層きれいに仕上がります。

補足

- 汚れの程度により、数回出し入れして洗浄してください。

2. 残水の排出

機体を排水口側に傾けて排水します。

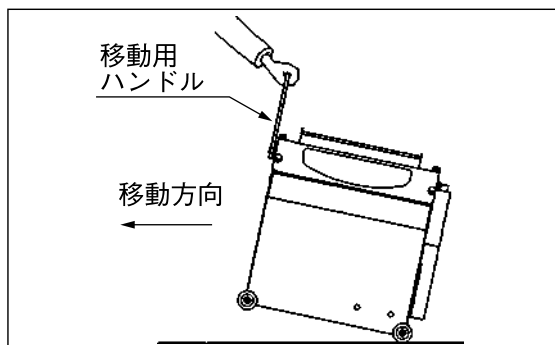


3. 移動

- ①移動用ハンドルを回転させ、上向きにします。
- ②移動用ハンドルを持ち上げて引きながら移動します。

重要

- 移動用ハンドルを持ち上げて押すと機体が倒れるおそれがあります。



定期点検と調節

警告

- 点検は、必ずスイッチを切り、電源コードの差込みプラグを抜いてから行なってください。
- 外したカバーは、もと通りに組付け、ボルト、ナット類は確実に締付けてください。
- プラグやコードが損傷していないか確認し、損傷している場合はすぐに交換してください。そのまま使用しますと感電や火災の危険があります。

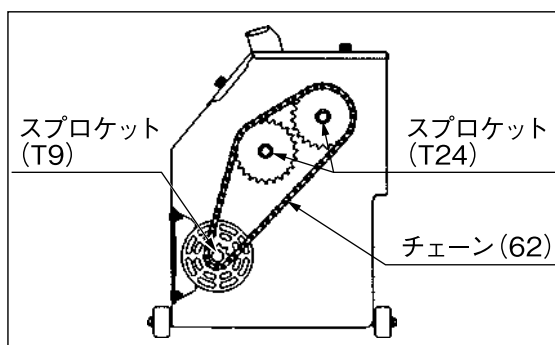
1. 泥、根の残留点検

- 毎日作業前にカバー（ウエ）を開けて泥、根の残留や付着がないか確認し、もしあれば水で洗い流し除去してください。

2. 定期注油箇所

- 作業シーズン前の注油箇所

 - ①チェーン（62）
 - ②スプロケット（T24）・（T9）
 - ③各軸受け部



長期格納

警告

- スイッチ、モータ、差込みプラグには水をかけないでください。感電や漏電の危険があります。
- プラグやコードが損傷していればすぐに交換してください。

- ①各部に付着した泥、根の汚れを水で洗い落とし、そのあとかわいた布でふき取りじゅうぶんに乾燥させてください。
- ②定期注油箇所に注油してください。
- ③機械は、風雨があたりず、ごみのかからない乾燥した場所に保管してください。

不調の原因と処置

警告

●点検・調整は必ずスイッチを切り、電源コードの差込みプラグを抜いてから行なってください。

現象	原因	処置
モータが回らない 止まる	<ul style="list-style-type: none"> ●電気がきていない ●正規電圧がきていない 	<ul style="list-style-type: none"> ●電源・差込みプラグ、コード類破損の確認、点検（注1） ●コードリールを使用している場合はコードリールの使用をやめる ●他の機器の電源を切る
洗浄が不じゅうぶん	<ul style="list-style-type: none"> ●土がかわきすぎて落ちない ●ブラシが摩耗している 	<ul style="list-style-type: none"> ●水を少しかけ、土がぬれた状態で作業する ●ブラシを交換する

注1. ネズミなどの害によりコードが断線、短絡、漏電する場合がありますので作業前に各コードをじゅうぶんに点検してください

仕様

型式		SW-JH
機体の大きさ (箱取除く)	全長 (mm)	395
	全幅 (mm)	485
	全高 (mm)	495 (移動時：625)
重量 (kg)		21
電源 (V)		交流単相100
モータ (kW)		0.2 (分相始動)
処理能力 (枚/時)		150~200
適応苗箱		水稲用苗箱 (ポットは除く)

消耗部品

品番	品名	備考
14131-1120-1	ブラシ、アッシ (L)	
14131-1122-1	ブラシ (R)	
14125-2141-1	ブッシュ	

■必要となる消耗部品の詳細は、当社ホームページ <http://www.saitonouki.jp/> の部品一覧から、該当する型式を選択し参照してください。

安全説明確認カード

説明者(販売店・農協)控

年 月 日

私は説明員から安全についての説明をききました。

ご使用者住所

氏名

印

販売店・農協名

担当者

形式

製造番号

【基本事項】

チェック

1. 作業管理者を決めること。	
2. 作業に適した健康人であること。	
3. 取扱説明書をよく読み、理解していること。	
4. 使用目的が本機の要求目的と合致していること。	
5. 不当な改造をしないこと。	

【作業について】

チェック

1. 安全ラベルの注意事項を守ること。	
2. 作業場所の明るさに注意をはらうこと。	
3. アースコードを必ず接続すること。	
4. コンセントにアース端子がない場合は炭素接地棒を使用してアースすること。この場合のアース工事は電気工事店に依頼すること。	
5. アースコードはガス管・水道管・避雷針などには絶対接続しないこと。	
6. 電源盤のコンセントは漏電ブレーカ付のコンセントを使用すること。	
7. 電源は必ず交流100Vを使用すること。直流100V（発電機等）での使用はしないこと。	
8. 電源コードを延長する場合は、オス・メスの防水コネクタを使用すること。また、タコ足配線はしないこと。	
9. 電源コードのプラグを差込むときは、スイッチが「切」であることを確認すること。	
10. モータの周辺に燃えやすいものを置かないこと。	
11. カバーを外したり、開けたままでは絶対にスイッチを入れないこと。	
12. スイッチを入れるときは周囲の人に合図をし、安全を確認すること。	
13. 運転中は作業や補助者以外、周囲に人を近づけないこと。	
14. 作業するときは絶対に手袋は着用しないこと。	
15. 運転中は差込み口・排水口の中に絶対手を入れないこと。	
16. 泥・根などを取除くときは必ずスイッチを切り、差込みプラグを抜くこと。	
17. 運転中に異常が発生したときは、すぐにスイッチを切り、差込みプラグを抜くこと。	
18. 運転中に停電、又はブレーカが作動したときは、すぐにスイッチを切ること。	
19. 機械から離れるときには、必ずスイッチを切り、差込みプラグを抜くこと。	

【点検・格納について】

チェック

1. 点検・調整はスイッチを切り、差込みプラグを抜いてから行なうこと。	
2. プラグやコードが損傷したら、すぐに交換すること。	
3. モータやスイッチに水をかけないこと。	

安全確認一覧表

【基本事項】

1. 作業管理者を決めること。
2. 作業に適した健康人であること。
3. 取扱説明書をよく読み、理解していること。
4. 使用目的が本機の要求目的と合致していること。
5. 不当な改造をしないこと。

【作業について】

1. 安全ラベルの注意事項を守ること。
2. 作業場所の明るさに注意をはらうこと。
3. アースコードを必ず接続すること。
4. コンセントにアース端子がない場合は炭素接地棒を使用してアースすること。 この場合のアース工事は電気工事店に依頼すること。
5. アースコードはガス管・水道管・避雷針などには絶対接続しないこと。
6. 電源盤のコンセントは漏電ブレーカ付のコンセントを使用すること。
7. 電源は必ず交流100Vを使用すること。直流100V（発電機等）での使用はしないこと。
8. 電源コードを延長する場合は、オス・メスの防水コネクタを使用すること。 また、タコ足配線はしないこと。
9. 電源コードのプラグを差込むときは、スイッチが「切」であることを確認すること。
10. モータの周辺に燃えやすいものを置かないこと。
11. カバーを外したり、開けたままでは絶対にスイッチを入れないこと。
12. スイッチを入れるときは周囲の人に合図をし、安全を確認すること。
13. 運転中は作業や補助者以外、周囲に人を近づけないこと。
14. 作業するときは絶対に手袋は着用しないこと。
15. 運転中は差込み口・排水口の中に絶対手を入れないこと。
16. 泥・根などを取除くときは必ずスイッチを切り、差込みプラグを抜くこと。
17. 運転中に異常が発生したときは、すぐにスイッチを切り、差込みプラグを抜くこと。
18. 運転中に停電、又はブレーカが作動したときは、すぐにスイッチを切ること。
19. 機械から離れるときには、必ずスイッチを切り、差込みプラグを抜くこと。

【点検・格納について】

1. 点検・調整はスイッチを切り、差込みプラグを抜いてから行なうこと。
2. プラグやコードが損傷したら、すぐに交換すること。
3. モータやスイッチに水をかけないこと。

純正部品を使いましょう

補修用部品は、安心してご使用いただける純正部品をお買求めください。
市販類似品をお使いになりますと、機械の不調や、機械の寿命を短くする原因になります。



株式会社 齋藤農機製作所

- 本社・工場 〒998-0832 山形県酒田市両羽町332番地
TEL0234(23)1511(代) ファクシミリ0234(26)4161
- 北海道営業所 〒079-0181 北海道岩見沢市岡山町18番地
TEL0126(24)5401(代) ファクシミリ0126(24)5402
- 九州営業所 〒861-8039 熊本県熊本市東区長嶺南1丁目1番10号
TEL096(384)6865(代) ファクシミリ096(384)6864

品番 14135-4111-2